



校訓

つよく[根性] たたく[自立] やさしく[礼儀] たすけあう[協働]

【学校教育目標】

ひとり歩きする児童生徒の育成

【めざす児童生徒像】

(知育)自ら進んで学ぶ子ども (徳育)礼儀正しくやさしい子ども (体育)ねばり強くがんばる子ども

夢や目標へ

自分を信じ、「明日」(未来)につながる「今日」(今)を大切にする学校

こんな自分づくりを

中学生

- ・自律(自立)に向かう直向きな自分
- ・仲間や自分を大切にする生き方を進める自分
- ・課題を克服する意欲に漲るたくましい自分

小学生

- ・集団での生活や学習を大切にできる自分
- ・自分や友達のことを考えることができる自分
- ・苦手なことにも向き合える自分

こんな教職員(管理職)・職員集団に

- ・教育公務員として望ましい人間性を備えた教職員
- ・児童生徒ファーストの姿が周囲に伝わる教職員
- ・児童生徒の思いと向き合い役割を果たす教職員
- ・組織の一員として広い視野で判断できる教職員
- ・児童生徒とともに歩む温かく頼もしい職員集団
- ・同僚性を尊重して支え合い高め合う職員集団
- ・本音で語り合える大らかな職員集団

達成感

職責感

「極小規模校のよさ」は児童生徒の利益に！

児童生徒<やれば 成長！>

- ・不都合なこと、面倒なことこそ果敢に挑戦→自信へ
- ・「できる」「分かる」まで考える自立型学習の定着
- ・児童生徒会活動のマンネリ化、学校の下請け化防止と新たなチャレンジに踏み出す。
- ・自他の尊厳と安全を守り、健康、体力づくりに意欲的に取り組む。

教職員(管理職)<やれば 感動！>

- ・他者に思いを馳せ、不満感を抱かせない人間性
- ・自己管理と自己成長で円滑業務
- ・授業改善(思考させない授業は授業と言わない。ICTも当たり前)で感動授業:「先生の授業はすごい」と噂しよう！
- ・既に Mom は当たり前！児童生徒の課題と向き合い、安定した学級経営、教科経営

自分を視つめ、問う作業

教育現場は評論家よりも実践家

前年度を生かして

児童生徒

- ・課題を克服する姿、克己して物事と向き合う姿
- ・進路を拓き、自身の糧となる学力の定着
- ・自他を大切にする言動や他者への気遣い(人権尊重の理念)ができるよさを継続
- ・危険予知や安全確保に係る主体的な判断力

教職員

- ・業務の公共性を自覚し、自己都合的業務遂行の打破
- ・効率的な業務遂行と業務進行管理、立場の自覚
- ・思考活動が核となる授業(今や5割以上語る・話す授業は恥ずかしい)
- ・信頼関係、人間関係を深める学級経営
- ・児童生徒の変容にこだわる姿勢の更なる向上へ

「やるぞ」「なるほど」「次は何？」
心が躍る学校生活

自己管理と他者協調、服務規律確保、
教育者としての自覚と責任

一人の子どもを疎かにしたとき、この学校の教育の灯は消える

「見つめる:M」「思いをめぐらす:O」「向き合う:m」(Momの基本姿勢)は当たり前！+より深く確かに！